

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）

（分担）研究報告書

ブロック拠点病院のない自治体における中核拠点病院の機能評価と体制整備のための研究

～オール四国の体制の整備～

課題番号：21HB1007

【分担研究5】在宅介護職員の実施研修

研究分担者：小野恵子

（愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター・社会福祉士）

研究要旨：四国のようにブロック拠点病院が近辺になく、県内の個々のエイズ拠点病院が十分に機能していない、いわゆる地方の比較的医療過疎である地区に、本研究によってHIV診療の充実や均てん化が促されていくことが期待されている。令和3年度の研究成果として、新型コロナウイルス蔓延にて3回のうち1回のみの実施となったが、HIV患者の介護に直接当たってもらうことが差し迫った事情であることを踏まえ、県内の在宅介護職の看護師に3日間ずつ研修会として、当院のHIV患者の実施研修（外来、病棟）と講義・討議を行った。具体的な研修により、HIV感染症に関する啓蒙とともにHIV患者の在宅医療の推進にも繋がり、極めて意義深い研究活動と考えている。

研究分担者

高田清式・愛媛大学医学部附属病院・教授
末盛浩一郎・愛媛大学医学部・准教授
井門敬子・愛媛大学医学部附属病院・副薬剤部長
若松綾・愛媛大学医学部附属病院・看護師
中村美保・高知大学医学部附属病院・看護師
武内世生・高知大学医学部・准教授
窪田良次・香川大学医学部・教授
尾崎修治・徳島県立中央病院・医療局次長

A. 研究目的

ブロック拠点病院が四国にない愛媛県において当院は、エイズ地域中核拠点病院に指定され、累計210名以上の患者を治療して

いる。四国地区は近年HIV・エイズ患者の増加が著しく、大半の患者が当院に受診している。かつ四国地区は、高齢化率が各県31.5～34.8%であり、都市に比べ高齢者のHIV・エイズ患者が多く、HIV感染および合併症が進行し日常生活に差し障りが著しく自宅以外での長期療養が必要な例も少なくない。当院は急性期病院の立場であり、自宅で生活困難な長期療養患者の対応については、他の施設への紹介・受け入れを個々の事例において行っているがHIVに対する不安や感染リスクが問題になり、受け入れに難渋しているのが実情である。さらに治療以外にも家族対応および就業面など社会的な対応も迫られることも多い。これらの実情のもと、数多くの医療スタッフに

よるチーム医療が必要な領域であることを踏まえ、当院では数年前より HIV 診療チームを立ち上げ活動しつつある。さらに在宅介護職員に対して、具体的な研修を行い、HIV 感染症に関する啓蒙とともに HIV 患者の在宅医療の推進にも繋げて行くことを目的とした、極めて意義深い研究活動と考えている。

また、アンケート調査等を通じ地方の HIV 診療に関する連携の実態を把握し問題点を検討する。

B. 研究方法

HIV 患者の介護に直接当たってもらうことが差し迫った事情であることを踏まえ、県内の在宅介護職の看護師に各々3日間ずつ研修会として、当院の HIV 患者の実施研修（外来、病棟）と講義・討議を年に数回行った。

（倫理面への配慮）

患者および関係者に対する人権の保護に配慮して行い、調査に協力できない場合も不利益にならないようにする。

C. 研究結果

令和3年度の研究成果として、新型コロナウイルス蔓延にて3回のうち1回の実施となった。HIV 患者の介護に直接当たってもらうことが差し迫った事情であることを踏まえ、県内の在宅介護職の看護師に各々3日間ずつ研修会として、当院の HIV 患者の実施研修（外来、病棟）と講義・討議を行った（図1）。

また、昨年度まで当院に実施研修に参加した多くの在宅介護の看護師（計20名）に最近の HIV 感染症に関する資料やパンフレットを送り、最新の知識の更新に努めていただいた（図2）。

日時	1日目 11/28(月)	2日目 11/30(火)	3日目 12/1(水)		
8:00	オリエンテーション (西島雅弘)	標準予備講 1-7講義見学 病棟研修 (二宮智博) 1-7講義	TMSO見学/ 医療ソーシャルワーカー講義: 県民、地域連携 (山本MSW) 臨床研修センター		
8:30	DVD「HIV/AIDSの医学的知識」				
10:00	医師講義: HIV/AIDSについて (末廣医師) 臨床研修センター		10:15 ~ 検査相談 (香口臨床検査技師) 臨床研修センター		
11:00	外来見学 (高田医師、本間智博)	DVD「性の特徴と感染 地域連携・啓蒙編」 【HIV陽性者の生活と社会参加】 【HIV陽性者の家族と感染】 【地域との連携:MSW】	心理士講義 (中尾心志士) 臨床研修センター		
11:30					
12:30				昼休講	昼休講
13:00					
13:30	昼休講	1-7講義見学/外来見学 (末廣医師、西野静見/本間智博)	薬剤師講義 (柴田美穂、本村俊博、井門康博) 薬剤師		
13:30					
14:00	外来見学 (高田医師、本間智博)				
15:00	看護師講義: 外来-在宅医療 (本間智博、若狭智博) 臨床研修センター	産科研修-口説7 (古田香穂先生) 臨床研修センター			
15:30					
16:00	医師講義: 産科の現状と在宅医療、性病検診 (高田医師) 臨床研修センター		検査(末廣医師) 臨床研修センター		
16:30					
17:00	HIVカンファレンス 1-7講義	1日研修終了			

図1 在宅介護研修スケジュール



図2 在宅介護研修者への資料配布内容

計2名のみ研修を行ったが、アンケートを行ったところ研修の全体的には満足度は高かった。また、研修前は半数が受け入れに不安であったが、研修後は2人とも受け入れ可能とのアンケート結果であった。

さらに「どのように HIV 感染患者とかわかっているのかが判ってよかった。基本的な薬や検査について理解できた。」などの意見があった。

さらに講義、カンファレンスも含め全体的な意見として、「多職種の意見も含めて全体像が見られた。各職種が意見を持ちあい、方向づける関係が素晴らしいと思っ

た。チームの関係性が良く話し合いやすい雰囲気であった。今後の介護の役に立つことを強く感じた。」という前向きな意見が得られ HIV の介護・在宅医療の充実がさらに図れた。

D. 考察

HIV 患者の介護に直接当たってもらうことが差し迫った事情であることを踏まえ、県内の在宅介護職の看護師に各々3日間ずつ研修会として、当院の HIV 患者の実施研修（外来、病棟）と講義・討議を行うことができた。具体的な研修により、HIV 感染症に関する啓蒙とともに HIV 患者の在宅医療への推進にも繋がり、極めて意義深い研究活動と考えている。アンケートの結果、かなり前向きで好意的な意見も多く見受けられ、HIV 感染症に対する偏見や誤解が解け、さらに最新の知識が得られる良い機会と考えられた。さらに近々具体的な患者の在宅医療への受け入れが円滑に進むことを期待している。

E. 結論

在宅介護職の看護師に対し、実施研修を3回実施した。HIV 患者の介護に直接当たってもらうことが差し迫った事情であることを踏まえ、県内の在宅介護職の看護師に各々3日間ずつ研修会として、当院の HIV 患者の実施研修（外来、病棟）と講義・討議を行った。具体的な研修により、HIV 感染症に関する啓蒙とともに HIV 患者の在宅医療への推進にも繋がり、極めて意義深い研究活動と考えている。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. 末盛浩一郎、田中景子、石川明子、小野恵子、芝田佳香、武田玲子、若松綾、宮崎雅美、中尾綾、乗松真大、木村博史、山岡多恵、井門敬子、竹中克斗、高田清式。愛媛県の各医療機関における HIV/AIDS 研修会後のアンケート調査を介した比較検討。日本エイズ学会誌,23(1):26-32,2021
2. 高田清式。臨床検査を使いこなす。EB ウイルス、サイトメガロウイルス。日本医師会雑誌生涯教育シリーズ 150 巻特別号：290-293, 2021
3. 高田清式。サイトメガロウイルス核酸定量について。モダンメディア 67 巻 7 号：14-17, 2021
4. 中村美保、前田英武、岡崎雅史、西田拓洋、朝霧正、四國友理、北村優衣、高田清式、武内世生。医療機関における HIV 陽性者受け入れ時の問題点と解決への取り組み。日本エイズ学会誌（投稿中）

2. 学会発表

1. 中尾綾、レイシー清美、末盛浩一郎、河邊憲太郎、山之内純、竹中克斗、高田清式。HIV 感染者の気分状態と関連因子の検討。日本エイズ学会、2021 年、WEB 開催。
2. 菊池正、西澤雅子、小島潮子、大谷眞智子、椎野禎一郎、程野哲朗、佐藤かおり、高田清式、杉浦互、吉村和久他。国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向。日本エイズ学会、2021 年、WEB 開催。
3. 西田拓洋、中尾綾、臼井麻子、吉川由香、海面敬、赤松祐美、谷英俊、池谷千恵、中村美保、川田通子、武内世生、佐藤

穰、窪田良次、尾崎修治、和田秀穂、千酌
浩樹、河邊憲太郎、山之内純、高田清式。

中国四国地方における HIV 関連神経認
知。日本エイズ学会、2021 年、WEB 開催。

4. 井門敬子、乗松真大、木村博史、中川
進平、川上幸伸、若松綾、本園薫、中尾
綾、末盛浩一郎、飛鷹範明、田中守、高田
清式。HIV 在宅介護研修における薬剤師の
活動。日本エイズ学会、2021 年、WEB 開
催。

5. 中川進平、井門敬子、乗松真大、木村
博史、川上幸伸、末盛浩一郎、中尾綾、若
松綾、高田清式、飛鷹範明、田中守。介護
ケアセンター職員向けに作成した抗 HIV
薬に関する冊子の評価（第 2 報）。日本エ
イズ学会、2021 年、WEB 開催。

6. 若松綾、本園薫、越智俊元、木原久
文、末盛浩一郎、井門敬子、小野恵子、中
尾綾、山岡多恵、竹中克斗、高田清式。イ
スラム教徒の妊婦を多職種で支援した一
例。日本エイズ学会、2021 年、WEB 開催。

7. 武内世生。臨床から具体的なワクチン
例および接種状況、SCB シンポジウム 3、
HIV 感染者のワクチン接種。日本エイズ学
会、2021 年、WEB 開催。

H. 知的財産権の登録状況（予定を含む）

該当なし